

令和2年度老人保健健康増進等事業

円滑な医療・介護連携を推進するための地域医療連携室の支援に関する  
調査研究事業

株式会社三菱総合研究所

地域包括ケアシステムを効果的に運用していくためには、医療と介護が互いに連携し、協働する仕組みを構築することが重要である。本事業においては、有効で実働的な医療介護連携を構築することを目的として以下を実施した。

①質問紙調査

管内の病床数が200床以上の病院地域連携室の実態を把握するため、当該属性の病院を含む全国の病院を対象に、業務内容（特に退院支援に係る項目）および退院後の受け入れ在宅医療・介護機関の情報収集方法、及び昨年作成したチェックリスト案の項目について、優先すべき対象について調査を実施した。

②ワークショップ

チェックリスト案検討のためのワークショップについて、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、当初予定していたような病院に関係者が集合してのワークショップの開催が困難であったため、班会議で検討した代替手段として、アンケート調査及び在宅医療や介護に関わる方への紙面ヒアリング調査を行った。

③介護職視点でのチェックリストの検討

質問紙調査・ワークショップに代替して実施したアンケート調査および紙面ヒアリングの成果物・班会議結果より、令和元年度の研究で作成したチェックリスト素案をより具体的なケースやディスカッションに基づいてブラッシュアップし、チェックリスト案を作成した。

④事業報告会

関係者の参考となることを目指し、本研究結果のオンデマンド配信を実施した。

⑤班会議の開催

委員8名から構成される班会議を設置し、研究事業の進捗状況に応じて3回にわたり事業を報告した。班会議にていただいた多方面からの意見を踏まえ、事業を検討し、進めた。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での班会議開催が困難であったため、Web会議ツールを用いオンラインにて班会議を実施した。

本事業で作成したチェックリストは、真の意味での顔の見える関係構築に資することを期待して、過去の知見から得られた見落としがちな要素や退院時の事故につながりやすい要素から構成したものである。今後関係者により活用されることにより、円滑な医療介護連携の構築に資することを期待する。